

チャレンジ精神で受賞 県農業コンクール大会表彰式

1月29日、ホテル熊本テルサにおいて、第55回熊本県農業コンクール大会表彰式が行われ、宮崎勲さん・和代さん夫婦（東網道）が「経営体部門」で優良賞を受賞されました。

「経営体部門」は、経営・生産技術の改善に積極的に取り組み、ゆとりある経営を実践し、地域農業の振興と地域の活性化に寄与している経営体に贈られるものです。

いちごの「ひのしずく」生産で、大玉生産やJ・Aと連携した販売に取り組み、雑草堆肥づくりなどにチャレンジ精神で取り組んでいることなどが評価されての受賞となりました。



▲表彰された宮崎さん夫婦

特産晚白柚 海を渡る イオン香港晚白柚 프로모 ション

1月31日・2月1日、イオン香港13店舗において、八代地域特産の晚白柚が大々的に販売されました。

そのほとんどを八代地方で生産している晚白柚は希少性が高く、ギネス記録にも認定されている世界最大級の柑橘です。

氷川町からは、久保田時雄水川柑橘部会副会長（笹尾）らがプロモーションに赴き、販促活動を行いました。

香港では酸味が受けず、味では苦労しましたが、見た目の大きさ（重さ）と爽やかな香りは好評で、旧正月（春節）に合わせて、おめでたい物として購入されていました。



▲手に取り大きさに驚く人も

ヘラブナ元気に育って 下池にヘラブナ放流

2月1日、不知火干拓貯水池（下池）において、ヘラブナの放流事業が行われました。

これは、台風などの影響で減少した下池のヘラブナを増やすことを目的に、熊本県釣り団体協議会が国の助成を受け実施したものです。

竜北西部小児童や釣り愛好家など約150人が参加。25センチほどに育ったヘラブナ約3500匹を放流すると、次々に元気よく泳いで行きました。

この日は、ヘラブナの生態などを学ぶ勉強会や「クリーン作戦」と題して、周辺の清掃作業も行われ、環境と触れ合う一日となりました。



▲下池に放流する参加者

氷川町の農業を守るため 集落営農組織育成セミナー

2月3日、文化センター講堂において、集落営農組織育成セミナーが行われ、町内の農業者約30人の参加がありました。

集落営農は地域ぐるみで農作物などを共同生産し、効率化すること、所得の向上を図る仕組みです。

現在氷川町では、野津・吉野地区が県のモデル地区として認定され、活動されています。

農山村地域経済研究所の楠本雅弘さんの講演では「大規模農業は一極集中を招き地域が寂れる。日本独自の集落営農をつくる必要がある」と話され、講演終了後は参加者から熱心な質問が行われました。



▲講演をする楠本雅弘さん

ふるさとついでに山形弁で話そう

氷川町文化講演会

2月8日、氷川町公民館において、氷川町文化講演会（氷川町文化協会主催）が行われました。

今年は、流ちょうな山形弁を話すアメリカ人タレントとして有名な、ダニエル・カールさんを招き「人のつながり」として「山形弁」をテーマに講演。日本に興味を持ったきっかけを始め、方言の違いに驚いたことなど、来日後のエピソードを山形弁で楽しく話されました。

「日本には自慢できることがたくさんある。謙遜も大事だが、自慢をしないことで良さを忘れてしまう。自分のふるさとをもっと自慢して欲しい」と話を締められました。



▲流ちょうな山形弁に会場は盛り上がりしました

出場おめでとう！

全国・九州大会出場者激励会

平成26年11月28日、12月16日、平成27年2月3日、役場庁議室において、全国・九州大会出場者の激励会が行われ、藤本町長から出場選手へ激励費が手渡されました。

出場選手、大会などについては次のとおりです。

【大会名】

第1回なでしこ
MIZUHO A&Kカップ
（8人制サッカー）

【出場チーム】

熊本ユニテッドSCエーマ

【出場選手名】

藤本 日菜さん（若洲）
（竜北西部小5年）
稲田 雛さん（東網道）
（竜北西部小5年）



▲藤本日菜さん（左）、稲田雛さん（右）

【大会名】

第36回九州高校
放送コンテスト宮崎大会

【出場選手名】

福岡 彩乃さん（新村南）
（八代高校2年）



▲福岡彩乃さん

【大会名】

第45回全国高等学校
バスケットボール選抜優勝大会

【出場選手名】

松崎 百香さん（中大野）
（天津高校3年）



▲松崎百香さん

【大会名】

第50回全九州高等学校
レスリング新人選手権大会

【出場選手名】

錦戸 祐也くん（中大野）
（玉名工業高校2年）
島田 琉くん（中大野）
（玉名工業高校1年）



▲錦戸祐也くん（左）、島田琉くん（右）

